

戦国群雄伝シリーズ エキスパンションキット

鎮西軍記

目次

33 ■ はじめに.....	3	42 ■ 鎮西の勇将.....	6
34 ■ ゲームに使用するもの.....	3	43 ■ 丹生島城と国崩し.....	6
35 ■ ゲームの進行.....	4	44 ■ 釣り野伏.....	7
36 ■ 軍勢と領国.....	4	45 ■ 豊後南郡衆.....	7
37 ■ 補充.....	4	46 ■ 島津氏の本土防衛.....	7
38 ■ 得点.....	5	■ 基本ルールの変更・明確化.....	7
39 ■ 豊臣軍.....	5	■ 改訂ルール(群雄伝クリニック).....	8
40 ■ 吉川親子の病没.....	5	■ シナリオ.....	8
41 ■ 諸大名の動揺.....	5	■ 持ち城一覧表.....	14

発行 SOLGER
ゲームデザイン AMI
スペシャルアドバイザー 錦大帝
スーパーオデッセイ
プレイテスター はるぜひ
ながわ
錦大帝
表紙写真提供 はるぜひ
参考資料 戦国群雄伝シリーズ全作品(ツクダ)
長元記(TSS)
戦国大名家臣団事典西国編
他

初版：2007年8月17日
改版：2007年10月1日
三版：2008年2月1日
四版：2013年4月19日
訂正：2013年4月20日
訂正：2013年5月3日

鎮西軍記 特別ルール

33 ■はじめに

「鎮西軍記」は、島津氏の九州統一戦と豊臣秀吉の九州征伐をテーマとした、戦国群雄伝シリーズ「九州三国志」の拡張キットです。ゲームとして遊ぶには「九州三国志」が必要です。

ルールを把握しやすくするため、特別ルールは、「九州三国志」と重複する内容も記述しています。

紫字はこの版での変更点です。

34 ■ゲームに使用するもの

34-1 付属物

鎮西軍記の頒布物には以下のものが含まれます。

- (1) ルールブック 8 枚
- (2) ユニットシート 2 シート (4 面分)
1/2 表・1/2 裏・2/2 表・2/2 裏の 4 面
- (3) ユニット用板目紙 2 枚 (厚紙)
- (4) ディスプレイシート 6 枚
- (5) 表紙・裏表紙 2 枚

基本ルール、地図、早見表、マーカー類、サイコロはこのセットには含まれませんので、「九州三国志」のものを使用してください。

34-2 カウンター

鎮西軍記のカウンターは、ラベル紙に印刷されたものが2シート4面分入っています。板目紙の両面に位置を合わせながら貼り合わせてから切断する仕様になっています。

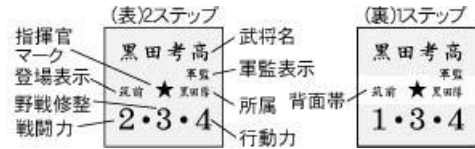
34-2-1 カウンターの作成

- (1) 各ユニットシートの表面を台紙からはがし、板目紙に貼り付けます。
- (2) 表面を接着した状態で、トンボを基準にして余白を切り離します。紙全体で貼り合わせても多少のズレには耐えられるように設計してありますが、より精密に作業なりたい場合は、1-2 段ごとのトンボで細かく切断してください。
- (3) 裏面は台紙から剥がす前に余白を切り離します。
- (4) 裏面を台紙から剥がし、表面の裏側に接着します。
- (5) 定規とカッターナイフを使い、ユニット裏面の罫線に沿って、切り離します。

この方法は一例です。自分の作業しやすい方法で作成してください。

34-2-2 ユニット

鎮西軍記のユニットには、以下の情報が追加されています。



(1) 指揮官マーク(追加)

★★★：総帥

(2) 登場表示

関白動座シナリオにおける登場ターン、もしくは、配置される領国です。

(3) 軍監表示

豊臣軍の軍監

(4) 所属

主に歴史的興味のために記述していますが、特別ルールが適用される場合もあります。

(5) 背面帯

表裏区別のため裏面中段に白帯が入っています。

34-2-3 マーカー

城マーカー：地図上にない城を追加するため、新形式のマーカーを用います。



(1) 城名：その城の名前

(2) 配置位置：配置する領国およびヘックス番号

(3) 所属軍勢：所有する軍勢の表示

(4) 城レベル：城のレベル数

(5) 本城表示：本城(あるいは連絡源)であることの表示。周囲が白枠で囲まれます。

港マーカー：松浦氏の連絡源を表示するために使用します(36-3-4)。

徹底抗戦マーカー：徹底交戦中の城を記録します。

勝利得点マーカー：勝利得点を記録。

34-3 ディスプレイシート

鎮西軍記には、島津氏、大友方諸氏、九州諸将、豊臣氏(先遣隊)、豊臣氏(本隊)、毛利・宇喜多氏の6種類のディスプレイシートが付属します。

豊臣方のボックスに記載されている日付はシナリオ7における登場ターンです。

一部の武将については複数のシートに編成ボックスを掲載していますので、使いやすい方を利用してください。

35 ■ ゲームの進行

鎮西軍記の進行手順は、次のようになります。

・ 開始ステージ

1. 情勢変化フェイズ
 - a. 増援の配置・病死ユニットの除去
 - b. 動揺判定
 - c. 黒田官兵衛の調略

2. 連絡線確認フェイズ

・ 第1ステージ

1. 大友氏作戦フェイズ

大友氏を担当するプレイヤーは、大友氏の部隊を行動させます。

2. 島津氏作戦フェイズ

島津氏を担当するプレイヤーは、島津氏および島津方同盟軍の部隊を行動させます。

3. 豊臣氏作戦フェイズ

豊臣氏を担当するプレイヤーは、豊臣氏および豊臣方同盟軍の部隊を行動させます。

・ 第2～4ステージ

第1ステージと同じ手順を繰り返しますが、当該ステージに行動できないユニットを行動させることはできません。

36 ■ 軍勢と領国

36-1 軍勢

36-1-1 鎮西軍記に登場する軍勢のうち、ユニットの中段右に「(国名)衆」の表記のあるユニットは、ユニットごとに独立した軍勢を表す国衆ユニットです。例外として、肥後の隈部親子のみは2ユニットでひとつの軍勢となります。

36-1-2 軍勢同士の間には、通常の間盟関係と、一方がより従属的な間盟である麾下があります。間盟主である軍勢と、その麾下に入っている軍勢は、ユニットを組み合わせることで部隊を編成することができます。しかし、同じ間盟主軍勢の麾下であっても中小大名の指揮官が別の中小大名のユニットを編成することはできません。

36-1-3 異なる軍勢のユニットを組み合わせることで一つの部隊を編成している場合、連絡線の設定や補充に関しては指揮官の軍勢のみが影響し、統率ボックスに配置されているユニットの所属軍勢は考慮する必要はありません。

例：黒田考高が豊臣麾下の高橋氏の武将ユニット権藤種盛を編成している場合、連絡線は豊臣氏の連絡源である門司城ないし丹生島城へのみ設定すればよく、高橋氏の本城である香春岳城への連絡線は考慮する必要はありません。また、この部隊が補充するとき、黒田考高が豊臣氏の補充表で1以上の結果を出せば、高橋氏の武将ユニットを回復させることもできます。

36-1-4 総大将・総帥が二人以上含まれる軍勢について、25-2が適用されるのは以下のユニットです。

- ・ 豊臣氏 : 豊臣秀吉
- ・ 毛利氏 : 毛利輝元
- ・ 大友氏 : 大友宗麟

36-1-5 島津義弘は大将ですが、特例として島津麾下の中小大名の大将ユニットを統率できます。

36-2 領国

各軍勢は、以下の領国を自国とします。

- ・ 島津氏 : 薩摩、大隅、日向
- ・ 大友氏 : 筑前、豊前、豊後
- ・ 龍造寺氏 : 肥前、筑後
- ・ 秋月氏 : 筑前、筑後、豊前
- ・ 宇都宮氏、高橋氏、長野氏 : 豊前
- ・ 有馬氏、肥前衆 : 肥前
- ・ 相良氏、肥後衆 : 肥後
- ・ 筑後衆 : 筑後
- ・ 原田氏 : 筑前
- ・ 筑紫氏 : 肥前、筑前
- ・ 上記以外の軍勢は地図上に領国がありません

36-3 連絡線の設定について

36-3-1 鎮西軍記では、間盟軍の城、部隊によって連絡線を設定することが可能です。

36-3-2 大友氏は大友館と丹生島城の2つの本城を持ちます。

36-3-3 地図上に本城のない豊臣方の軍勢は、門司城もしくは丹生島城を間盟軍が支配していれば、そこから8移動力で連絡線を設定できます。

36-3-4 松浦氏は地図上に本城がないため、ヘックス0709(唐津港)から8移動力で連絡線を設定します。

36-3-5 筑後衆は間盟軍が支配する高良山と猫尾城を本城として利用できます。本城を間盟軍が支配している場合、筑後衆が離叛しても本城の支配は変更されません。

36-3-6 豊後南郡衆(45項)は豊後国内の間盟軍の城から8移動力で連絡線を設定できます。

37 ■ 補充

37-1 補充欄の違い

37-1-1 鎮西軍記では、部隊がその軍勢の領国(36-2)にいる場合は自国の欄を、そうでない場合は他国の欄を使って補充を判定します。

37-1-2 主要勢力とその麾下に入っている中小大名はお互いにその城を自城として、部隊でも城でも補充することができます。

37-2 廃城となった本城への補充

37-2-1 通常、本城が廃城になってしまうと連絡線の設定ができず補充も行えませんが(8-3-2)、本城に対して補充を行う場合のみ連絡線を設定できなくても、自城の欄を使って補充を行えるものとします。

37-2-2 ある軍勢の本城が落城した後、間盟軍がその城を奪還しても連絡線を回復することはできません。連絡線を回復するためには、当の軍勢で奪還する必要があります。

38 ■ 得点

ゲーム終了時、各プレイヤーは次のように得点します。得点は、シナリオの勝敗判定の基準となります。

38-1 城の保持による得点

プレイヤーは、シナリオ開始時に相手方が所有していた城を攻城戦によって落城させ、ゲーム終了時まで保持していれば、以下のように得点します。

- ・ レベル0
- ・ レベル1
- ・ レベル2
- ・ レベル3

ただし、ゲーム終了時に本城ないし連絡源となるヘックスまで連絡線が設定できない場合は得点は半分に なります。

また、**諸大名の動揺判定(41 項)**で軍勢が離叛したた ために所有権が変わった城は落城したとはみなさず、得 点になりません。ただし、離叛した軍勢の城を離叛前 に攻城戦によって落城させた場合は得点にできます。

38-2 ユニット除去による得点

プレイヤーは、ゲーム中に除去した相手ユニット1つ につき、次のように得点します。なお、豊臣秀吉が除去 された場合、島津方の自動的勝利として直ちにゲーム 終了となります。

- ・ 総大将：10点
- ・ 大将：2点
- ・ 武将：1/10点

39 ■ 豊臣軍

仙石秀久は戸次川の合戦で長宗我部元親、十河存保らの 進言を無視して自分の作戦を押し通しました。また、尾藤知 宣は根白坂の合戦で豊臣秀長が援軍を投入するのに強く反 対しました。結果的には二人とも秀吉の叱責を受けますが、 軍監として、組下の大名はおろか、秀長の行動を掣肘でき るだけの権限を与えられていたのです。

39-1 豊臣軍の指揮序列

39-1-1 どのユニットの野戦修整を使うか選択する際 に、豊臣軍と同盟軍の同じ階級のユニットが存在する 場合、常に豊臣軍のユニットを選ばなければなりません。

39-1-2 シナリオで軍監に指定されている武将は豊臣 秀吉以外のすべての武将より身分が高いものとみなし ます。軍監は単独で合戦を行うことはできませんが、軍 監が合戦に参加する場合、(秀吉がその合戦に参加し ていなければ)軍監の野戦修整を使用します。

39-1-3 豊臣秀吉は総帥(★★★)です。総帥は総大 将を自分の編成ボックスに編成できる他は総大将と同じ です。

デザイナーメモ 秀吉軍記の織田信長のような特典は ありません。

39-2 宇喜多軍の指揮

宇喜多秀家は若年のため叔父の宇喜多忠家の補佐を受け ていました。

39-2-1 宇喜多忠家が宇喜多秀家の編成ボックスに 配置されていない場合、秀家の行動力は3に低下しま す。

40 ■ 吉川親子の病没

九州征伐の期間中に毛利軍の柱石であった吉川元春が、 嫡男元長も島津氏の降伏後に相次いで病没しました。

40-1 病没

40-1-1 吉川元春は、1584年11月3週の情勢変化 フェイズに病没します。

40-1-2 吉川元長は、(本作に含まれるシナリオの期間 中を越えませんが)1585年6月3週の情勢変化フェイズ に病没します。

40-1-3 病死したユニットはゲームから除去されます。 編成ボックスに置かれていたユニットは病死した武将 のいたヘックスに配置します。

40-1-4 病死した武将は得点の対象になりません。

41 ■ 諸大名の動揺

優れた装備を有し、圧倒的な兵力を誇る豊臣方の軍勢に対 し、勇猛をもって鳴る鎮西の諸大名もその姿を見ただけで動 揺し、次々と島津方を離叛していきました。

41-1 動揺の判定

41-1-1 情勢変化フェイズに、下記の条件を満たす島 津方の以下の各軍勢は動揺判定表を参照してその動 向を判定しなければなりません。

龍造寺氏、秋月氏、高橋氏、長野氏、宇都宮氏、 有馬氏、大村氏、西郷氏、波多氏、松浦氏、原田氏、 黒木氏、草野氏、星野氏、三池氏、相良氏、隈部氏、 城氏、宇土氏、小代氏、甲斐氏

(1)本城が包囲されているか、落城している場合

(2)豊臣秀吉がマップ上に登場している場合

ただし、島津軍ユニットがその軍勢の本城ヘックスの 城外にいるなら動揺判定はしません。

松浦氏は地図上に本城に関する条件を満たすこと はありません。筑後衆は2つある本城の一方でも条件 を満たします。

41-1-2 豊臣方プレイヤーは任意の順番で軍勢ごとに サイコロを振り、判定表の該当する軍勢の列とサイコロ の出目の交差する欄を確認します。サイコロの出目は 以下の条件で修正されます。

+2 本城が包囲されているか落城している

+1 黒田考高がその軍勢の本城ヘックスにいる

+3 豊臣秀吉がその軍勢の本城ヘックスにいる

+3 豊臣秀吉が豊臣方支配の高良山(1612)にいる

+1 門司城から大友宗麟に連絡線を設定できる

-2 大友宗麟が除去されている

41-1-3 動揺判定で離叛の結果が出るとその軍勢は島津方を離叛して豊臣氏の麾下大名となります。

41-1-4 離叛した軍勢のユニットは、豊臣方プレイヤーの選択により、その軍勢の本城に籠城状態で再配置するか、豊臣秀吉のいるヘックスに再配置します。このとき、士気と戦力の低下はすべて回復します。同じターンに再配置された軍勢や増援と再編成することが可能です。ひとつの軍勢のユニットを分割して2箇所配置することはできません。

41-1-5 松浦氏と筑後衆は地図城に固有の本城が存在しません。これらは現在利用可能な連絡源(36-3-4、36-3-5)を本城とみなして再配置できます。

例:唐津港に島津方のユニットがいる場合、筑後の城が島津方支配の場合、それらは連絡源として利用できない状態のため再配置先を選べません。

41-1-6 離叛した軍勢の城に、島津方の部隊が籠城していた場合、直ちに退去(20-3-2)させます。

41-1-7 鎮西諸将(41-1-1 に列挙されている大名)のユニットが島津方のときに除去された場合、代わりに豊臣方に降伏します。降伏したユニットはターン記録表の次のターンの欄に置き、次の情勢変化ステージに離叛した場合と同じ方法で再登場します。豊臣秀吉が登場していない場合、その時点で最も階級が高い豊臣方ユニットと同じヘックスに登場します。ある軍勢の最も階級の高いユニットが降伏したら軍勢全体が離叛します。ユニットは次のターンに再登場しますが、城は直ちに豊臣方として使用可能になります。それ以外のユニットが寝返った場合、所属軍勢全体が寝返るまでは独立した小大名として扱います。このルールは大友宗麟が除去されている場合には適用されません。

41-2 黒田官兵衛の調略

ユニットとして登場しない小勢力の調略を表します。

41-2-1 情勢変化フェイズ毎に、豊臣軍は黒田考高と同じヘックスにいる豊臣氏の部隊に使用できる補充1ステップを受け取ります。豊臣氏以外の指揮官の部隊には使用できません。

41-3 宇都宮鎮房

宇都宮鎮房は豊臣方に寝返ったものの病と称して出陣しませんでした。鎮房は後に秀吉の国替え命令を拒否して一揆を起こし、黒田考高によって謀殺されます。

41-3-1 宇都宮氏が豊臣方になった場合、宇都宮鎮房は城井谷城に籠城状態で配置され、以後、一切移動できません。宇都宮氏の他のユニットには影響はありません。

41-4 鍋島直茂

鍋島直茂は龍造寺家が島津の傘下に入ることに反対していました。

41-4-1 龍造寺氏が島津方である間、鍋島直茂は佐嘉城に籠城状態で配置し、移動させることができません。移動以外の行動は可能です。

41-5 肥前戦線の省略[選択ルール]

シナリオ7のプレイ時間を短縮するために戦局に大きな影響を与えない肥前戦線をゲームから除外できます。他のシナリオでは使用できません。

41-5-1 このルールを使用する場合、両軍ユニットは肥前の領国内、および、筑後の柳川城に隣接するヘックスに移動したり連絡線を設定することはできません。ユニットは下記の条件で登場するまで配置しません。国境に接する城は肥前国外に支配地域を及ぼします。

41-5-2 肥前を本国とする龍造寺氏、有馬氏、大村氏、西郷氏、波多氏、松浦氏は動揺判定で豊臣方に離叛した場合に、豊臣秀吉のいるヘックスに配置することで登場できます。

41-5-3 筑紫広門は龍造寺氏が離叛したら同時に豊臣秀吉と同じヘックスに配置され行動を開始します。

41-5-4 大友軍の立花統虎、由布雪下、小野鎮雪の3ユニットは立花山城に籠城状態で配置し、情勢変化フェイズに門司城から大友宗麟に連絡線が設定できるまで移動できません。

42 鎮西の勇将

九州征伐戦の特徴のひとつとして、籠城戦で活躍した武将の輩出があげられます。

42-1 徹底抗戦の宣言

42-1-1 以下に指定された武将の部隊のみが包囲された城郭に籠城している場合、その武将が行動可能なステージにおいて徹底抗戦を宣言できます。宣言は士気回復行動の一部と見なします。徹底抗戦を宣言したステージでは、士気回復に自動的に成功します。

大友軍：高橋紹運、立花統虎、志賀親次、

佐伯惟定、利光宗魚

島津軍：山田有信

43 丹生島城と国崩し

丹生島城(臼杵城)は家督を義統に譲った大友宗麟の隠居地でした。島津軍はこの城にも兵を派遣しましたが、干潮時にだけ地続きになる独特の地形と大友軍が使用した国崩しと呼ばれる大砲で城は守られました。

43-1 海城

43-1-1 丹生島城を強襲するとき、13戦力以上の部隊も9-12戦力の欄を使用して解決します。

43-2 国崩し

43-2-1 国崩しは大友軍に属する特殊ユニットです。国崩しは行動力もステップも持たず、大友宗麟だけが自らの部隊に編入できます。

43-2-2 大友宗麟が国崩しを編成している場合、迎撃ボーナス(19-2-5)が1増加します。

43-2-3 国崩しに損害を割り当てることはできません。国崩しを含む部隊が野戦で後退したり、城から退去する場合、国崩しは除去されます。また、編成されていない国崩しが敵の制圧地域に入った場合も除去されま

す。一度除去された国崩しは補充できません。

44 ■ 釣り野伏

島津軍は野戦において、伏兵と偽装敗走を組み合わせた包囲殲滅戦法を得意としました。

44-1 釣り野伏の実施

44-1-1 島津軍の指揮官ユニットはシナリオで許可されている場合、行動のひとつとして「釣り野伏」を試みることができます。

- (1)釣り野伏を試みる指揮官の行動力と野戦修整を合計します。
- (2)釣り野伏の対象となる敵指揮官の行動力と野戦修整を合計します。複数の敵部隊がスタックしている場合、そのヘクス全体を対象としなければなりません。
- (3)(1)の合計から(2)の合計を引きます。
- (4)ダイスを1個振って(3)の数値以下ができれば成功です。

44-1-2 判定に成功した場合、島津軍のいるヘクスで合戦になります。この場合、総大将がいなくても合戦として解決します。また、地形の修整は一切無視します。

44-1-3 釣り野伏を仕掛けられた軍が退却する場合は、釣り野伏を行った島津軍がいるヘクスを起点として退路を数えます。1ヘクス目は必ず自分が元いたヘクスになります。また、このヘクスに退却する場合は敵の支配地域は無視します。

44-1-4 島津側が退却する場合は通常のルールに従います。相手の軍は元島津軍がいたヘクスに前進しなければなりません。

45 ■ 豊後南郡衆

島津軍の豊後侵攻に呼応して豊後南部の領主たちがこぞって島津方に寝返りました。

45-1 南郡衆の離叛

45-1-1 大友軍ユニットのうち、南群衆/一門衆の文字が赤字のユニットは島津軍の豊後侵入に呼応して離叛する可能性がある「内応ユニット」です。

45-1-2 内応ユニットは離叛するまでは大友軍とみなしますが、移動させたり指揮官の編成ボックスに配置されることはできません。それ以外の行動は可能です。

45-1-3 大友方内応ユニットのみが籠城している城に対する降伏勧告では+2の修整がつきます。

45-1-4 大友方内応ユニットが、攻城戦の結果、除去もしくは開城の結果退去する場合、その結果の代わりに島津方のユニットになります。

45-1-5 島津方内応ユニットはユニットごとに個別の軍勢となる島津麾下の中小大名です。島津方になると45-1-1のような制限はなく、島津方プレイヤーが自由に使用できます。

45-2 島津軍の撤収

45-2-1 島津方の内応ユニットが豊後国外へ移動する

場合、もしくは、豊前および豊後国内から島津軍ユニットがすべてなくなった場合、ユニットごとにサイコロをふってその動向を調べます。

出目が1~3の場合、そのまま島津方中小大名として行動します。

出目が4~6の場合、大友家に降伏したものと除去されます。これは大友方(豊臣方)が敵ユニットを除去したものと得点の対象となります。

46 ■ 島津氏の本土防衛

46-1 情勢変化フェイズの開始時に、島津義久を含む10ユニット以上の島津軍が薩摩か大隅の領国内、または、内城から連絡線を設定できるヘクスにいない場合、すべての島津軍ユニットの士気が1低下します。島津方中小大名は影響を受けません。

■ 基本ルールの変更・明確化

籠城戦による抗戦を再現するため、基本ルールの攻城戦に関係する部分を変更します。

18-1-2 (補足)

複数の部隊で包囲を開始する場合でも、個々の部隊が強襲を行うか否かは、1部隊づつ強襲を解決しながら決めることができます。

18-2-1 (2)に追加(変更)

包囲結果表の判定の際、大将もしくは総大将が籠城しているならサイコロの出目に1を加えます。ただし、修正前の出目が1場合は常に事件となります。

具体的には、規定数以下の場合は、1で事件、2で耐久力-1、3~6で効果なし、となります。

20-3 Aに追加(変更)

徹底抗戦の結果が出た城では迎撃ボーナスが増加して+2になります。

徹底抗戦の効果は、城に籠城しているユニットが1つでも増減したら解除されます。ただし、42-1の条件を満たすなら、再び撤退抗戦を宣言することは可能です。

徹底交戦中の城は開城申出(20-4)ができません。

23-3-7に追加(補足)

複数の部隊が同じ経路を後退するときは、部隊単位ではなくスタック全体で損害を被るだけで構いません。

■改訂ルール(群雄伝クリニック)

以下の囲み中の文章は、月刊 誌に福田誠氏名義で掲載されたルール解釈および追加ルールです。鎮西軍記はこれらのルールを使用することを前提に調整してありますが、ご存じでない方もいらっしゃるようなので、引用しておきます。

1.城の士気について

城の士気は、城に部隊が一つも籠城していないときだけ表示します。一部隊でも籠城している場合は部隊の士気が適用され、城の士気は表示しません。

2.冬季における山地への連絡線設定

冬季とは、積雪とか大雪の時のことですが、このときには部隊が山地にいても連絡線を通すことができません。冬季には絶対に山地に連絡線を設定できないのです。

3.包囲に必要な部隊数について

包囲するのに必要なのは、城のレベル数の 倍以上の戦闘力を持つ部隊です。 倍以上の戦闘力にするため、複数の部隊が同時に包囲を宣言しても構いません。

4.合戦の制限

防御側部隊が防御側の城のあるヘックスにいる場合、双方の合意が得られた場合のみ合戦を行うことができます。合意を得られなかった場合は合戦を行うことはできませんが、戦闘に変更することは可能です。

■シナリオ

鎮西軍記では4本のシナリオを用意しています。シナリオ番号は九州三国志からの連番です。各シナリオの構成は以下の通りです。

(1)シナリオ名

シナリオの題名と設定、歴史的背景の紹介です。

(2)使用地域

シナリオで使用する地図の範囲です。

(3)ターン数

ゲームの長さおよび時期です。

(4)同盟軍

各プレイヤーが担当する軍勢の指定です。

(5)配置

ユニットの配置場所および順番の指定です。青字になっているユニットは指揮官ユニット等置き換えの効かないユニットです。それ以外の一般武将ユニットについては、その軍勢の武将ユニットの中からランダムに使用してもゲーム上は問題ありません。

(6)増援

増援の内容および登場ターンです。同じヘックスに複数のユニットが増援として登場する場合、任意に編成して登場させることができます。

(7)持ち城

使用する城と保有する軍勢の指定です。

(8)勝利条件

勝敗決定の方法です。

(9)特別ルール

そのシナリオだけに適用される特別ルールです。

(10)歴史的結末

歴史上での戦いの経過です。

シナリオ開始前の準備

(1)各プレイヤーが担当する軍勢の持ち城に城マーカーを置きます。

(2)各ユニットを配置ヘックスに配置します。配置ヘックスに友軍の城がある場合は、籠城させてもかまいません。また、同じヘックスに複数のユニットがある場合は、それらで部隊を編成して初期配置することができます。

■シナリオ4 壮烈！高橋紹雲

〔天正 14 年(1586)7 月、岩屋城攻防戦〕

島原 沖田畷 合戦で当主隆信を失った龍造寺氏の後継者政家は島津の旗下に加わった。これにより、九州で島津に抵抗する勢力は大友氏だけとなった。

その大友氏は、高城川 耳川 合戦の敗北以後、離叛者が相次ぐなど凋落著しく、最大の柱石であった立花道雪も昨年筑後で陣没していた。独力で島津に対抗する術のない大友宗麟は中央の実力者豊臣秀吉にすがすが、島津義久は秀吉の調停を無視して島津忠長、伊集院忠棟に筑前攻めを命じる。

かつては大友氏の有力な拠点であった筑前も今では秋月種実らに蚕食され、わずかに高橋紹運の岩屋城と、その実子で立花家の養子に入っていた立花宗虎の立花山城が残るばかりであった。紹運は自ら捨て石となって豊臣軍来援までの時間を稼ぐという悲壮な決意の元に岩屋城で籠城戦の準備を進めていた。

・使用地域

筑前、筑後、肥前、肥後、豊前、豊後、薩摩

・ターン数

10 ターン(6月第3週～8月4週)

・プレイヤー

2 人 (1) 島津方：島津氏、龍造寺氏、秋月氏
(2) 大友方：大友氏、毛利氏、豊臣氏

・配置

大友方が先に配置

〔大友方〕

大友氏

・大友麾下の中小大名：筑紫氏

(1)ヘクス 1608(岩屋城)

高橋紹運

(2)ヘクス 1605(立花山城)

立花統虎、由布雪下、小野鎮幸

(3)ヘクス 3210(竜王城)

田原紹忍

筑紫氏

(1)ヘクス 1610(勝尾城)

筑紫広門

毛利氏

(1)ヘクス 2501(門司城)

仁保元豊

〔島津方〕

島津氏

・島津麾下の中小大名：相良氏、有馬氏、
宇都宮氏、島津方国衆

(1)ヘクス 1727(八代城)

島津義弘、島津忠長、伊集院忠棟、島津朝久、
赤星統家、喜入季久、鎌田政近、町田久倍、
五代友慶、頼娃久虎、川上忠智

相良氏

(1)ヘクス 1932(人吉城)

相良頼房、岡本頼真、犬童頼安、的場自休

国衆

(1)ヘクス 1823(宇土城)

宇土顕孝

(2)ヘクス 2118(隈府城)

隈部親永、隈部親安

(3)ヘクス 2113(御船城)

甲斐宗立

(4)ヘクス 1617(筒が岳城)

小代親泰

(5)ヘクス 1921(隈本城)

城久基

秋月氏

・秋月麾下の中小大名：高橋氏、長野氏
全てのユニットが増援として登場

龍造寺氏

(1)ヘクス 1213(佐嘉城)

鍋島直茂 籠城状態で配置

・増援

〔島津方〕

(1)島津軍が猫尾城を包囲したら、1ターン後の情勢

変化フェイズに登場

ヘクス 1914(猫尾城)

筑後衆：黒木延実、草野家清、星野鎮胤、
三池鎮実

(2)島津軍が高良山を包囲したら、1ターン後の情勢

変化フェイズに登場

ヘクス 1612(高良山)

龍造寺氏：龍造寺政家、龍造寺信周、
龍造寺長信、宇礼志野直通、成富茂安、
江上家種、後藤家信、執行種忠、安富純泰、
龍造寺家晴、田尻鑑種

有馬氏：有馬晴信、安徳純俊、志岐諸常

肥前衆：大村喜前、松浦鎮信、波多親、

西郷信尚

秋月氏：秋月種実、熊井越中守、芥田悪六兵衛、
佐々木種次、秋月種長、内田実久、板波忠成

筑前衆：原田信種

(3)島津軍が高良山を包囲したら、2ターン後の情勢

変化フェイズに登場

ヘクス 1612(高良山)

高橋氏：高橋元種、権藤種盛

長野氏：長野種信

宇都宮氏：宇都宮鎮房、宇都宮朝房、中間統種

〔豊臣方〕

(1)第9ターン(8月3週)

ヘクス 2501(門司城)

豊臣氏：黒田考高、黒田長政、明石元知、
栗山利安、森勝信

毛利氏：吉川元春、吉川元長、吉川広家、
熊谷信直、口羽春良、宍戸元統、穂井田元清、
繁沢元氏、天野元嘉、吉見広頼、三刀屋久祐、
三沢為虎、国司元武、堅田元慶、益田元祥、
平賀元相、阿曾昭広秀、志道元規、児玉就光、
粟屋就方

(2)第10ターン(8月4週)

ヘクス 2501(門司城)

毛利氏：毛利輝元、小早川隆景、福原貞俊、
桂元親、末次元康、天野元政、小早川秀包、
三浦元忠、渡辺長、草刈重継、清水景治、
清水行宗、中島元行、山内広通、榑崎元兼、
三吉隆亮、桂広繁、乃美宗勝、三村親成

・持ち城

「持ち城一覧表」参照。

・勝利条件

38項による得点で10点以上差をつけてれば島津方の勝利。それを阻止すれば大友方の勝利

・特別ルール

- 1.豊後には大友方のユニットしか進入できません。薩摩には島津方のユニットしか進入できません。
- 2.島津方の増援は指示されている条件を満たしたら、次の情勢変化フェイズに登場します。
- 3.毛利軍が登場するまで、島津方の部隊は門司城(ヘクス 2501)およびその隣接ヘクスに入れません。

・歴史的結末

同盟軍を糾合しつつ筑前に進撃した島津軍は圧倒的な兵力で岩屋城を囲んだ。島津忠長は高橋紹運の武勇を惜しんで開城を勧めるが、紹運はこれを拒否して玉砕した。島津側はこの戦いで受けた損傷が大きく、毛利軍上陸の報を受けて筑前から兵を引いた。立花統虎は撤退する島津軍を追撃して痛撃を与え、岩屋城も奪還して大いに武名を上げた。

■シナリオ5 義久の野望

〔天正14年(1586)10月、豊薩合戦〕

高橋紹運、立花統虎の奮戦と毛利軍の上陸により筑

前から兵を引いたものの、島津義久はまだすべてをあきらめたわけではなかった。豊後南群衆の調略が整い、豊臣軍本隊の来援までにはまだ旬日を要すると見られるこの機会に宿敵大友氏を討つべく、肥後口から島津義弘が、日向口からは島津家久が進撃を開始した。

・使用地域

豊前、豊後、肥後、筑後、日向、薩摩、大隅

・ターン数

15ターン(10月第2週～1月第4週)

・プレイヤー

- 2人(1)島津方：島津氏、秋月氏
(2)大友方：大友氏、毛利氏、豊臣氏

〔島津方〕

島津氏

- ・島津麾下の中小大名：相良氏、宇都宮氏、島津方国衆、豊後南郡衆

(1)ヘクス 1727(八代城)

島津義弘、島津歳久、島津忠長、伊集院忠棟、新納忠元、島津朝久、島津彰久、長寿院盛淳、頼娃久虎、伊勢貞真、樺山久高、北郷忠虎、比志島国貞、五代友喜、東郷重位、町田久倍、赤星統家

(2)ヘクス 3136(佐土原城)

島津家久、山田有信、上井覚兼、種子島久時、吉利忠澄、土持久綱、猿渡信光、喜入季久、村尾重候、鎌田政近、本庄主税助、伊集院久宣、伊集院久治

豊後南郡衆

(1)ヘクス 3120

入田宗和、志賀親孝

(2)ヘクス 3721(朝日岳城)

柴田紹安

相良氏

(1)ヘクス 3136(佐土原城)

相良頼房、岡本頼真、犬童頼安、的場自休、秋月氏

・秋月麾下の中小大名 高橋氏

(1)ヘクス 2009(古処山城)

秋月種実、秋月種長、内田実久、板波忠成

(2)ヘクス 2308(岩石城)

熊井越中守、芥田悪六兵衛、佐々木種次

(3)ヘクス 2205(香春岳城)

高橋氏 高橋元種、権藤種盛

宇都宮氏

(1)ヘクス 2508(城井谷城)

宇都宮鎮房、宇都宮朝房

(2)ヘクス 2710(一ツ戸城)

中間統種

鎮西諸将

(1)ヘクス 1823(宇土城)

宇土顕孝

(2)ヘクス 2118(隈府城)

隈部親永、隈部親安

(3)ヘクス 2113(御船城)

甲斐宗立

(4)ヘクス 1617(筒が岳城)

小代親泰

(5)ヘクス 1921(隈本城)

城久基

(6)ヘクス 1612(高良山)

黒木延実、草野家清、星野鎮胤、三池鎮実

〔大友方〕

大友氏

(1)ヘクス 3514(大友館)

大友親家、大友親盛

(2)ヘクス 3916(丹生島城)

大友宗麟、武宮鎮元、柴田礼能、国崩し

(3)ヘクス 3219(岡城)

志賀親次、朝倉一玄

(4)ヘクス 3721(桐牟礼城)

佐伯惟定、山田匡徳

(5)ヘクス 3611(木付城)

木付鎮直

(6)ヘクス 3210(竜王城)

大友義統、田原紹忍、吉弘統幸、宗像鎮継、大津留鎮益、田北統辰

(7)ヘクス 3716(鶴賀城)

利光宗魚

(8)ヘクス 3318(鳥岳城)

一万田鑑実、一万田鎮実

(9)ヘクス 2918(南山城)

志賀鑑隆、志賀鎮隆

(10)ヘクス 3117(山野城)

朽網鎮則

(11)ヘクス 1605(立花山城)

立花統虎、由布雪下、小野鎮幸

豊臣氏・毛利氏

・豊臣麾下の中小大名：長野氏、筑紫氏、長宗我部氏、十河氏

(1)ヘクス 3210(竜王城)

豊臣氏：仙石秀久、脇坂安治

長宗我部氏：長宗我部元親、長宗我部信親、桑名親光

十河氏：十河存保

(2)ヘクス 2302(小倉城)

豊臣氏：黒田考高、黒田長政、明石元知、栗山利安、森勝信

毛利氏：毛利輝元、吉川元春、小早川隆景、吉川元長、福原貞俊、熊谷信直、吉川広家、口羽春良、宍戸元統、桂元親、穂井田元清、末次元康、天野元政、小早川秀包、繁沢元氏、天野元嘉、吉見広頼、三刀屋久祐、三沢為虎、

国司元武、堅田元慶、益田元祥、平賀元相、阿曾沼広秀、志道元規、児玉就光、栗屋就方、三浦元忠、渡辺長、草刈重継、清水景治、清水行宗、中島元行、山内広通、榑崎元兼、三吉隆亮、桂広繁、乃美宗勝、三村親成、仁保元豊

(3)ヘクス 1610(勝尾城)

筑紫氏：筑紫広門

・持ち城

「持ち城一覧表」参照

・勝利条件

38 項による得点で、相手より 15 点以上多く得点していれば島津方の勝利。島津方の勝利を妨げれば大友方の勝利。

・特別ルール

1. 竜王城に配置されている大友方の軍勢は 11 月 3 週になるか、大友館、丹生島城、鶴賀城のいずれかが島津軍に包囲されるまで行動できません。
2. 島津軍が豊前に侵入するか、大友方が合戦で負けるまで、毛利軍は豊前から出ることができません。
3. 南郡衆(45 項)のうち、大友方で配置されているユニットは離叛するまで移動させることができません。移動以外の行動は可能です。
4. 黒田考高と仙石秀久は豊臣軍の軍監(39-1-2)です。
5. 島津軍はゲーム中に一回だけ釣り野伏(44 項)を試みることができます。

・歴史的結末

島津軍は肥後口、日向口から豊後へと雪崩れ込み、南群衆の内応もあって豊後南部は瞬く間に制圧されたものの、志賀親次、佐伯惟定といった一部の城主は頑強に抵抗を続けた。豊前方面に出陣していた仙石秀久と大友義統は急ぎ帰還するものの、戸次川合戦で惨敗を喫し、島津軍は豊後主要部を制圧した。

■シナリオ6 匹夫の勇

〔天正 14 年(1586)12 月、戸次川合戦〕

豊臣軍の先触れとして仙石秀久を軍監とする四国勢が豊後に上陸した。秀吉は本隊が到着するまで軽挙を戒め堅守に務めるよう通達していたが、功にはやる秀久は島津家久の囲んだ鶴賀城を救援すべく十河、長宗我部らを伴って出陣、家久の仕掛けた罠の中に自ら踏み込んでいった。

・使用地域

豊後

・ターン数

1ターン

・プレイヤー

2 人 (1) 島津方：島津氏

(2) 豊臣方：豊臣氏、大友氏

・配置

豊臣方が先に配置

〔豊臣方〕

大友氏

(1)ヘクス 3514(大友館)から1ヘクス以内

大友義統、吉弘統幸、宗像鎮継、大津留鎮益、田北統辰

(2)ヘクス 3716(鶴賀城)

利光宗魚

籠城中。耐久力は 3 に低下しています。

豊臣氏

・豊臣氏麾下の大名：長宗我部氏、十河氏

(1)ヘクス 3615

豊臣氏：仙石秀久、脇坂安治

長宗我部氏：長宗我部元親、信親、桑名親光

十河氏：十河存保

〔島津方〕

島津氏

(1)ヘクス 3716

島津家久、山田有信、新納忠元、上井覚兼、種子島久時、吉利忠澄、土持久綱、猿渡信光、喜入季久、北郷忠虎、鎌田政近、本庄主税助、伊集院久宣

・持ち城

「持ち城一覧表」参照

・勝利条件

38 項による得点で、相手より 13 点以上多く得点していれば島津方の勝利。島津方の勝利を妨げれば大友方の勝利。なお、豊臣軍ユニット(黄色地に赤文字)を除去した場合 1 個につき 5 点追加されます。

・特別ルール

1. 仙石秀久は豊臣軍の軍監(39-1-2)です。
2. 利光宗魚以外の大友軍ユニットは、島津方のユニットに隣接されるまで、一切の行動ができません。
3. 島津家久は仙石秀久に釣り野伏(44 項)を仕掛けることができます。このとき、サイコロの判定なしに自動的に成功します。

・歴史的結末

島津家久の釣り野伏の罠に誘い込まれた豊臣軍は完膚無きまでに打ちのめされた。十河存保、長宗我部信親、桑名親光、戸次統常らが戦死、仙石秀久、長宗我部元親、大友義統もそれぞれ豊後国外まで敗走します。鶴賀城、大友館も奪われ、豊後の主要部は島津の手に落ちたのでした。

■シナリオ7 関白動座

〔天正 15 年(1587)3 月、九州征伐〕

自らの停戦命令を無視する島津氏の抵抗と、仙石秀久の独断専行による敗北に豊臣秀吉は激怒し、自らの手で九州戦国を終焉に導く決意を固める。1 月 25 日の宇喜多秀家隊一万五千の出陣を皮切りに三十七カ国から動員された総勢二十五万にも及ぶ軍勢が続々と進発、3 月 1 日には秀吉の本隊が大坂を発した。

九州平定の総仕上げいよいよが始まる。

・使用地域

全域

・ターン数

12ターン(2月第3週～5月第2週)

・プレイヤー

2人(1)島津方：島津氏、龍造寺氏、秋月氏
(2)豊臣方：豊臣氏、毛利氏、大友氏

・配置

島津方が先に配置します。

[島津方]

島津氏

・島津麾下の中小大名：相良氏、宇都宮氏、有馬氏、肥前、肥後、筑前、筑後衆、南郡衆

(1)ヘックス 1543(内城)

島津氏 島津義久、平田光宗、本田親貞

(2)ヘックス 1727(八代城)

島津氏 島津忠辰、川上忠智

(3)ヘックス 3611(木付城)

島津氏 伊集院忠棟、新納忠元、島津朝久、赤星統家、喜入季久、北郷忠虎、五代友喜
以上のユニットは木付城を包囲中です。

(4)ヘックス 3514(大友館)

島津氏 島津家久、上井覚兼、種子島久時、吉利忠澄、本庄主税助、村尾重候、伊集院久治、伊集院久宣

南郡衆 大友親家、柴田紹安、一万田鎮実

(5)ヘックス 3219(岡城)

島津氏 島津義弘、島津歳久、島津忠長、穎娃久虎、比志島国貞、長寿院盛淳、伊勢貞真、樺山久高、島津彰久

南郡衆 入田宗和、志賀鑑隆、志賀鎮隆、志賀親孝、巧網鎮則

肥後衆 甲斐宗立、小代親泰、城久基、宇土顕孝、隈部親永、隈部親安
以上のユニットは岡城を包囲中です。

(6)ヘックス 3919(榎牟礼城)

島津氏：山田有信、猿渡信光、土持久綱、町田久倍

以上のユニットは榎牟礼城を包囲中です。

(7)ヘックス 2821

島津氏：鎌田政近

(8)ヘックス 2921

島津氏：東郷重位

(9)筑後もしくは肥後国内の任意のヘックス

筑後衆：黒木延実、草野家清、星野鎮胤、三池鎮実

(10)ヘックス 0618(三城)

肥前衆：大村喜前

(11)ヘックス 0709(唐津港)

肥前衆：松浦鎮信

(12)ヘックス 0711(岸岳城)

肥前衆：波多親

(13)ヘックス 0820(伊佐早城)

肥前衆：西郷信尚

(14)ヘックス 1207(高祖山城)

肥前衆：原田信種

相良氏

(1)ヘックス 3521

相良頼房、岡本頼真、犬童頼安、的場自休

宇都宮氏

(1)ヘックス 2508(城井谷城)

宇都宮鎮房、宇都宮朝房

(2)ヘックス 2710(一ツ戸城)

中間統種

有馬氏

(1)ヘックス 1124(日野江城)

有馬晴信、安徳純俊、志岐諸常

秋月氏

(1)ヘックス 2009(古処山城)

秋月種実、秋月種長、内田実久、板波忠成

(2)ヘックス 2308(岩石城)

熊井越中守、芥田悪六兵衛、佐々木種次

龍造寺氏

(1)ヘックス 1213(佐嘉城)

龍造寺政家、龍造寺信周、鍋島直茂、宇礼志野直通、成富茂安、龍造寺長信、江上家種、後藤家信、執行種忠、安富純泰

(2)ヘックス 1414(柳川城)

龍造寺家晴、田尻鑑種

[豊臣方]

豊臣氏

・豊臣麾下の中小大名：宇喜多氏、前田氏、長野氏、高橋氏、筑紫氏

(1)ヘックス 2205(香春岳城)

豊臣氏：黒田考高、黒田長政、明石元知、栗山利安、森勝信
高橋氏：高橋元種、権藤種

長野氏：長野種信

(2)ヘックス 1610(勝尾城)

筑紫氏：筑紫広門

毛利氏

(1)ヘックス 2205(香春岳城)

毛利氏：毛利輝元、小早川隆景、吉川元長、福原貞俊、熊谷信直、桂元親、吉川広家、宍戸元統、口羽春良、穂井田元清、末次元康、天野元政、小早川秀包、繁沢元氏、天野元嘉、吉見広頼、三刀屋久祐、三沢為虎、国司元武、堅田元慶、益田元祥、平賀元相、阿曾沼広秀、志道元規、児玉就光、栗屋就方、三浦元忠、渡辺長、草刈重継、清水景治、清水行宗、中島元行、山内広通、榑崎元兼、三吉隆亮、桂広繁、乃美宗勝、三村親成、仁保元豊

大友氏

(1)ヘックス 3210(竜王城)

大友義統、田原紹忍、大友親盛、吉弘統幸、宗像鎮継、大津留鎮益、田北統辰

(2)ヘックス 3916(丹生島城)

大友宗麟、武宮鎮元、一万田鑑実、国崩し

(3)ヘックス 3219(岡城)

志賀親次、朝倉一玄

徹底抗戦で籠城中、岡城の耐久力 7

(4)ヘックス 3919(樞牟礼城)

佐伯惟定、山田匡徳

徹底抗戦で籠城中、樞牟礼城の耐久力 7

(5)ヘックス 3611(木付城)

木付鎮直

籠城中、木付城の耐久力 5

(6)ヘックス 1605(立花山城)

立花統虎、由布雪下、小野鎮幸

・増援

〔豊臣方〕

(1)第2ターン(2月4週)

ヘックス 2302(小倉城)

宇喜多氏：宇喜多秀家、宇喜多忠家、岡利勝、長船貞親、花房正成、花房職秀、延原家次、戸川達安、明石景親、馬場職家、沼本豊国、角南友行、遠藤俊通、江原親次、岡本秀弘

(2)第3ターン(3月1週)

ヘックス 2302(小倉城)

豊臣氏：宮部継潤、蜂須賀家政、前野長康、高山重友、中川秀政、福島正則、亀井茲矩、垣屋光成、木下重堅、益田正忠、稲田植元、賀島政慶、林能勝、伊東祐兵、細川忠興、米田是政、志水清之、南条元統、小嶋元清、一条元綱

(3)第4ターン(3月2週)

ヘックス 2302(小倉城)

豊臣氏：豊臣秀長、尾藤知宣、藤堂高虎、宇多頼忠、桑山重晴、青木一矩、石田三成、大谷吉継、長束正家、加藤光泰、筒井定慶、十市忠之、箸尾高春、増田長盛、小西行長、筒井定次、島清興、井戸覚弘、中坊秀祐、桃ヶ谷国仲

(4)第5ターン(3月3週)

ヘックス 2302(小倉城)

豊臣氏：豊臣秀勝、豊臣秀康、木下勝俊、生駒親正、小出秀政、木下利久、丹羽長重、大島光政、丹羽長昌、粟屋勝久

(5)第6ターン(3月4週)

ヘックス 2302(小倉城)

豊臣氏：堀秀政、長谷川秀一、木村重茲、堀利宗、奥田直政、多賀秀種、柴田勝全、村上頼勝、溝口秀勝、青山宗勝、太田一吉、加藤嘉明、九鬼嘉隆、稻葉貞通、稻葉典通、池田輝政、伊木忠次、森寺忠勝、荒尾成房、

荒尾隆重、片桐半右衛門、森忠政、林為忠、蒲生氏郷、横山喜内、赤坂隼人佐、関一政、前田氏：前田利長、長連龍、奥村永福

(6)第7ターン(4月1週)

ヘックス 2302(小倉城)

豊臣氏：豊臣秀吉、浅野長政、堀尾吉晴、青木一重、片桐且元、糟谷武則、池田長吉、加藤清正、戸田勝隆、戸田重政、古田重然、石川数正、水野忠重、山崎片家、下間頼廉、蜂屋頼隆、織田信包、金森長近、遠藤慶隆、平野長泰、毛利秀頼、森勝永、大塩与一郎、谷衛友、滝川益氏、津田盛月、伊木遠雄、寺沢広政、氏家行広、小川祐忠、朽木元綱、分部光嘉、織田信雄、滝川勝利、佐久間信榮、織田長益、木造長政、丹羽氏次、土方雄久、山口重政、生駒家長、林正武、沢井重勝
佐々氏：佐々成政、佐々平左衛門、神保氏張
長宗我部氏：長宗我部元親、桑名親勝、桑名吉成

・持ち城

「持ち城一覧表」参照

・勝利条件

ゲーム終了時に佐土原城と出水城を包囲するか自軍の城とした上で、38項による得点で相手より25点以上多く得点してれば豊臣方の勝利です。豊臣方の勝利を妨げれば島津方の勝利です。

・特別ルール

- 1.このシナリオでは大友氏は豊臣方作戦ステージに行動します。
- 2.黒田考高と尾藤知宣は豊臣軍の軍監(39-1-2)です。
- 3.龍造寺軍は豊臣方のユニットが龍造寺軍の城または部隊に隣接するまで、一切行動できません。隣接されたら、次の行動ステージから行動可能になります。その場合も41-4の制限は適用されます。

・選択ルール

豊臣方が不利に感じられる場合、島津義弘と島津家久の統率ボックスを5にしてください。

・歴史的結末

関白九州に上陸の報によって島津の下についていた中小勢力はことごとく秀吉の下に馳せ参じた。秀吉本人の率いる十万は筑後高良山を経て肥後から薩摩へ迫り、舎弟秀長率いる十五万は豊後を経て日向へ侵入、高城を囲んだ。島津軍はその主力を日向方面に集結し、根白坂の秀長軍陣地に夜襲を仕掛けるが、万全の防御態勢を整えていた秀長軍の部将宮部継潤らを打ち破ることができず、島津忠隣らを失って敗退した。これ以上の抵抗が無益であると悟った島津義久は剃髪して豊臣秀吉に降伏した。

■持ち城一覧表

領国	城名	レベル	ヘクス	シナリオ4	シナリオ5	シナリオ6	シナリオ7
筑前	高祖山	0	1207	原田(本城)	原田(本城)	原田(本城)	原田(本城)
	名島	1	1507	—	—	—	—
	立花山	3	1605	大友	大友	大友	大友
	岩屋	2	1608	大友	大友	大友	大友
	古処山(秋月)	0	2009	秋月(本城)	秋月(本城)	秋月(本城)	秋月(本城)
筑後	柳川	2	1414	龍造寺	龍造寺	龍造寺	龍造寺
	高良山(久留米)	2	1612	大友	島津	島津	島津
	猫尾(黒木)	1	1914	大友	島津	島津	島津
豊前	香春岳	1	2205	高橋(本城)	高橋(本城)	高橋(本城)	高橋(本城)
	小倉	1	2302	高橋	毛利	毛利	毛利
	岩石	0	2308	秋月	秋月	秋月	秋月
	馬ヶ岳	1	2405	長野(本城)	長野(本城)	長野(本城)	長野(本城)
	門司	1	2501	毛利(連絡源)	毛利(連絡源)	毛利(連絡源)	毛利(連絡源)
	城井谷	2	2508	宇都宮(本城)	宇都宮(本城)	宇都宮(本城)	宇都宮(本城)
	一ツ戸	0	2710	宇都宮	宇都宮	宇都宮	宇都宮
	中津	2	2907	—	—	—	—
	宇留津(追加)	0	2606	宇都宮	宇都宮	宇都宮	宇都宮
	竜王	1	3210	大友	大友	大友	大友
豊後	隅	0	2412	大友	大友	大友	大友
	角牟礼(追加)	2	2913	大友	大友	大友	大友
	南山(追加)	0	2918	大友	大友	島津	島津
	高	1	3020	大友	大友	大友	島津
	山野(追加)	1	3117	大友	大友	島津	島津
	岡	3	3219	大友	大友	大友	大友
	高田	0	3308	大友	大友	大友	大友
	鳥岳	0	3318	大友	大友	大友	島津
	大友館	0	3514	大友(本城)	大友(本城)	大友(本城)	島津
	木付	2	3611	大友	大友	大友	大友
	鶴賀(位置変更)	0	3716	大友	大友	大友	島津
	朝日岳	0	3721	大友	大友	島津	島津
	安岐	0	3810	大友	大友	大友	大友
	丹生島(臼杵)	3	3916	大友(本城)	大友(本城)	大友(本城)	大友(本城)
	樽牟礼	1	3919	大友	大友	大友	大友
肥前	三(大村)	0	0618	大村(本城)	大村(本城)	大村(本城)	大村(本城)
	唐津港(唐津)	×	0709	松浦(連絡源)	松浦(連絡源)	松浦(連絡源)	松浦(連絡源)
	岸岳	0	0711	波多(本城)	波多(本城)	波多(本城)	波多(本城)
	伊佐早(諫早)	0	0820	西郷(本城)	西郷(本城)	西郷(本城)	西郷(本城)
	千々石	0	1021	有馬	有馬	有馬	有馬
	鶴亀	0	1120	有馬	有馬	有馬	有馬
	日野江	1	1124	有馬(本城)	有馬(本城)	有馬(本城)	有馬(本城)
	三瀬	0	1209	龍造寺	龍造寺	龍造寺	龍造寺
	佐嘉(佐賀)	1	1213	龍造寺(本城)	龍造寺(本城)	龍造寺(本城)	龍造寺(本城)
	蓮池	1	1313	龍造寺	龍造寺	龍造寺	龍造寺
	森岳	1	1322	有馬	有馬	有馬	有馬

鎮西軍記 第四版

領国	城名	レベル	ヘクス	シナリオ4	シナリオ5	シナリオ6	シナリオ7
肥前	勝尾(追加)	0	1610	筑紫(本城)	島津	島津	筑紫(本城)
肥後	水俣	1	1332	島津	島津	島津	島津
	筒ヶ岳(追加)	0	1617	小代(本城)	小代(本城)	小代(本城)	小代(本城)
	高瀬	0	1619	島津	島津	島津	島津
	八代	2	1727	島津	島津	島津	島津
	宇土	1	1823	宇土(本城)	宇土(本城)	宇土(本城)	宇土(本城)
	隈本(熊本)	1	1921	城(本城)	城(本城)	城(本城)	城(本城)
	人吉	0	1932	相良(本城)	相良(本城)	相良(本城)	相良(本城)
	堅志田	2	2025	島津	島津	島津	島津
	隈府	0	2118	隈部(本城)	隈部(本城)	隈部(本城)	隈部(本城)
	御船	0	2123	甲斐(本城)	甲斐(本城)	甲斐(本城)	甲斐(本城)
	鍋	0	2331	相良	相良	相良	相良
	岩尾	1	2424	島津	島津	島津	島津
	高森	0	2621	島津	島津	島津	島津
	日向	飯野	1	2135	島津	島津	島津
都城		1	2441	島津	島津	島津	島津
野尻		0	2537	島津	島津	島津	島津
紙屋		0	2737	島津	島津	島津	島津
淡路		0	3023	島津	島津	島津	島津
飫肥		1	3043	島津	島津	島津	島津
佐土原		1	3136	島津	島津	島津	島津
宮崎		0	3138	島津	島津	島津	島津
高		3	3223	島津	島津	島津	島津
延岡		1	3626	島津	島津	島津	島津
日知屋		0	3629	島津	島津	島津	島津
大隅	蒲生	3	1640	島津	島津	島津	島津
	栗野	2	1937	島津	島津	島津	島津
	肝付	0	2248	島津	島津	島津	島津
薩摩	平佐	2	1139	島津	島津	島津	島津
	出水	0	1234	島津	島津	島津	島津
	伊集院	2	1242	島津	島津	島津	島津
	伊作	2	1244	島津	島津	島津	島津
	知覧	0	1347	島津	島津	島津	島津
	谷山	1	1444	島津	島津	島津	島津
	内	0	1543	島津(本城)	島津(本城)	島津(本城)	島津(本城)
	大口	1	1634	島津	島津	島津	島津
	指宿	0	1649	島津	島津	島津	島津

- 注記1. -はシナリオで使用しない城
 2. 鶴賀城は位置を変更しています
 3. 唐津は城ではありません(36-3-3参照)